

する。自分の考えをまとめきれていない児童については、班の中で発言の手助けをするように促す。ノートに自分の考えをまとめ、自分の考えに自信をもつことができた児童は、4人のグループの中で活発に意見交流を行ったり、補足説明を行ったりすることができる。



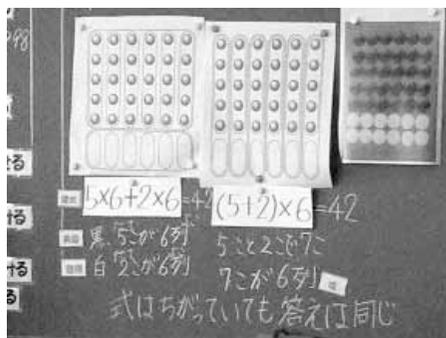
【班の中で図と式の関係を見せながら説明する児童】

(4) クラス全体の中で図と式の関係の説明し、理解を深める。

グループの中で二つの式と図の関係について説明した児童は、次のクラス全体での話し合い活動で説明できるようにしたい。なぜ図とその式をつなげたか説明する児童の言葉を教師が分かりやすく板書していくことで理解の手助けをする。分配法則のきまり「式はちがっていても答えは同じ」という結論にたどり着くことができるようにしたい。



【クラス全体の中で図と式の関係  
説明する児童】



【児童の考えをまとめた板書】

### 3 学習上の留意点

- ・一人一人が十分な話し合いの時間を確保するには、話し合いのグループの人数は4、5人が適している。普段から、グループによる話し合い活動を行っている時、短時間に内容の理解を深めることができる。
- ・ノートに考えをまとめることは時間がかかるが、一人一人が自分の考えをもち、それを元に話し合いをしていくためには重要なステップなので、時間を確保した上で支援する必要がある。

### 4 学習の効果

- ・4年生にとって分配法則を理解するのは、難しく、退屈な授業になりがちである。図を使って話し合うことで、進んで法則について考え、理解を深めることが可能になる。
- ・自分の考えを文章化、言語化することは、4年生の子供たちにとってまだまだ大変なことだが、グループ内で話し合うことで友達の意見を自分の言葉で言い換えて説明する活動を繰り返し行うことができるのがこの授業形態のよいところである。